

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月25日

【評価実施概要】

事業所番号	4271401178		
法人名	社会福祉法人 朝日福祉会		
事業所名	グループホーム 花応園		
所在地	〒859-1301 長崎県雲仙市国見町神代甲952 (電話) 0967 - 65 - 3200		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島町2丁目7217番地島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年10月19日	評価確定日	平成19年11月28日

【情報提供票より】(平成19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 4.7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	79 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛野記念病院・佐藤医院・堺歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

野外を望めば四季折々の花木に囲まれ、運動公園や有明海が眺望できる。運動場では保育園児の運動会や遊戯に打ち込む光景が目に留まり、ふと童心に帰る。創設者のビジョンである「降り注ぐ太陽のひかり、木々や山の緑、小鳥の囀り」そんな自然に恵まれた環境と、自由で家庭的な雰囲気の中で、お年寄りや子供たち、家族、地域の人々を結び、楽しく、穏やかに暮らせる社会の創造を目指したいという思いや、老人介護だけでなく人間生活の原点に向って自己評価や外部評価結果を踏まえてサービスの質の向上に取り組む姿に、利用者や唱歌を歌う職員に対して利用者の安堵の様子が伺える。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護計画の実施期間が1年であったが、短期目標は3ヶ月、長期目標を6ヶ月に設定変更し、個々の利用者の状況変化に対し、適切なサービス提供が図られるようになった。また潜在等を利用者の手の届く所に置いていたが、鍵を掛け安全な場所に保管できるようになった。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価結果に対し、項目ごとに、管理者、職員が全員参加による協議を重ね、改善計画、方針をたて、改善に向けた取り組みを実践している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回、定期的に運営推進会議を開催し、運営規定変更、年間行事計画及び実践状況、入居者の状況報告、自己評価、外部評価の報告を行い、家族会代表、利用者、民生委員、行政担当者の意見、アドバイスを傾聴しサービス向上に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族に対し、定期的に園便り発行し、また面会の際に個々の状況を報告している。また1,000円を限度として本人の金銭管理を行っている。家族に対しては其の都度報告している。また家族会を開催したり、相談箱を設置し苦情、意見の吸収を図っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の文化祭、踊り等、行事にもできる限り参加し、保育園、学校等の交流も実践している。</p>

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの理念が解りやすく明示されているが、改正後の追加項目である「地域との連携」が盛り込まれていない。		平成18年度の改正介護保険法において、地域密着型サービスの方針が変更になり「地域との関係性を重視」する点が追加された。特に地域の人々にも高齢者(認知症)を理解してもらい、地域との連携により、共に広い枠でのサービスの質の向上が求められている。将来に向けての理念の見直しを望む。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者を先頭に、職員は常に「明るく、楽しく、伸び伸びと」を念頭に置き、利用者に温かく接している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	家族会議も定期的を開催し、地域の文化祭、踊り等地域行事にも積極的に参加し、保育園、学校との交流も実施している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価結果の話し合いにも管理者や職員全員が参画し、問題点や改善点を取り上げ、より良い改善に向かって実践に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、定期的に運営推進会議を開催し、運営規定変更、年間行事計画、入居者の状況報告等をおこない、利用者、家族会代表、行政担当者、民生委員等の意見を吸収しサービス向上に取り組んでいる。		

グループホーム 花応園

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在のところ、運営推進会議の出席以外は市町村担当者との連携がない。		市町村担当者に事業所の理念、方針、又現状を知ってもらい、問題が存在する場合は解決の一端を担ってもらい、サービス向上のために、たゆまぬ協同関係を期待したい。
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族に対して定期的に園便りを発行し、又面会時に個々の状況を報告している。また月1,000円を限度として金銭管理を行い家族に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や相談箱設置において、利用者の意見を表せるよう取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	出産等により移動があるが利用者との信頼関係を保つために、職員交代の際は、時間的余裕をもつように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はもとより、希望者に対しては参加者を募り研修を受講させている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協議会等の研修等にも参加していたが、現在は特に交流している団体はない。		地域ケア研究会等のネットワークに入会し、お互い情報交換を行ったり、見学研鑽する機会としてサービス向上に向けての精進を望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>殆どどの利用者が、同一法人敷地内のデイサービスセンターからの入居者であるため、当施設に入居する際は職員も入居者も顔馴染みになり落ち着いて安心したサービスを受けている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>昼休みや休憩時間も職員、利用者が伸び伸びと一緒に唱歌を歌い、温かい雰囲気に包まれている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>普段の生活の中で、声かけ等を行い利用者の反応により「何をしたいか、望んでいるか」等の把握に努めている。特に意思表示の困難な方に関しては家族や関係者による情報を充分活かしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントの段階により本人や家族の意見を聞き、課題把握については担当者、職員による協議を行っている。その上で本人本位の個別計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は長期6ヶ月、短期目標を3ヶ月に設定し、状況変化があった場合は実情に応じた計画の見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて、通院や入院の際の送迎・外泊支援サービス等、臨機応変に対応している。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	まず、入所前の主治医をかかりつけ医として、若し変更する際は十分に本人、家族と話し合い了解を得ている。また希望者には週一回の施設担当主治医の受診を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開所以来、終末期を迎えた利用者は一人のみであり、この時は本人の意思と家族との話し合いの上、病院に移送することが最適であるとの判断に基づき実行した。		本人も家族にとっても一番の関心事である最終的段階、そのときを迎えるに当たっての対応策を普段より話し合い、マニュアルの文書化を望む。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日頃より利用者の誇りやプライバシーには十分配慮しているが、長期的入居者に対して、つい馴れ合いが生じるので各自で認識を深めてサービスに対応している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を取り入れ、各自のペースに合わせ個別的な暮らし方に沿うよう支援している。		

グループホーム 花応園

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間は職員と一緒に旬のものを美味しく頂いている。また、利用者の誕生日には特に好きなメニューを提供し、其々の要望に応じている。ランチタイムは利用者と職員は明るく楽しく時間を過ごしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	楽しく、自由に、好きな日好きな時間帯に入浴できるよう、毎日沸かして支援を行っている。気の合う入居者同士、午前中に何人か一緒に連れ合い入浴されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各利用者の持てる力を発揮できるような場面づくりを設け、より本人が喜びに満たされるよう感謝の言葉をかけている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は隣接するデイサービス見学や見晴らしの素晴らしい施設周辺をゆっくりとした歩調で散策に出かけられる。また、五感刺激の機会として、四季折々の感触に触れる為、ドライブや買い物等に出かけられる。出来るだけ本人の意思、希望を第一に考慮し支援に応じている。		
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に出入りできるよう日中は居室、玄関は開放している。利用者が外出する際は職員が気配を察知し、声掛けの実施や連係体制を取り、ケアに取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は定期的に行い、退避時間の短縮化等成果が生じている。只、地震に対する対策・実施訓練等が現在のところ実施されていない。		現在の日本は、全国津々浦々に亘り、毎日地震が発生している。そのような状況下において、揺れがあった場合の初期避難体制や避難場所等の決定等地震対策マニュアルをつくり定期的に訓練実施を望む。

グループホーム 花応園

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量、栄養バランス、飲水量はチェック表に記録し、各個人に対応した支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はできるだけ当施設の特徴である自然背景の明るさを取り入れ、周囲の緑や花木等の雰囲気をつんだんに取りいれている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への装飾品の持ち込みは個人差がある。しかし、一家団樂の写真を飾り、縫ぐるみ等、趣味に必要な物品の用意など、個々に使い慣れた物を持ち込んで居心地よい雰囲気である。		